

〈コンセプト〉

「CBR650F」「CB650F」の開発において、開発チームは「Honda直列4気筒エンジンの搭載モデルに期待されるものは何か?」、そして「CBらしい世界観の直列4気筒エンジンとは何か?」を探求することから始めました。そしてCBに対する価値基準を商品の性能差で判別するだけでなく、様々な観点から検証しました。

CBを購入される方々の中には、CBが持つ独特の個性に魅力を感じる方々も増えていることから、直列4気筒のエンジンとしての魅力を進化させながら、様々なシーンにおける使用状況や嗜好性を考慮し、個性の異なる2タイプのモデルの設定を目指しました。“走行フィール”“機能”“デザイン”などを徹底的に追求し、世界中の方々に乗っていただくことを前提に、以下の点を目標に掲げました。

- 直列4気筒エンジンを搭載しながら、“跨るとスリムな車体”“前後のオーバーハングを抑えたコンパクトな車格”を実現し、車両との一体感に貢献して安心感のあるライディングを楽しむことができること。
- 滑らかなエンジンフィールにより“中低速域での力強さ”“心地よい高回転域への吹け上がり”が感じられること。
- エンジン回転数が4000rpm以下の状況であっても“トップギアで走行可能”なこと。
- 低速度域において“安定感のある操舵フィーリング”“Uターンのしやすさ”“十分な足着き性”などの扱いやすさを備えていること。

私たち開発チームは、お客様の要望や時代の要請に応えながら、次世代のHonda直列4気筒CBワールドの基礎的な位置づけとなるよう「Welcome to the L4 CB world」をコンセプトとして開発しました。

